Student Activity Report

Studies

英語英文学科4年　渋田　万由子さん （ 学業奨励奨学金 ）

－どのような学生生活を送っていますか。

英語英文学科に所属し、現在はアメリカ文学を専攻して、斉藤悦子教授のもと勉学に励んでいます。また教職課程を履修し、英語及び宗教科の教員免許取得を目指し努力しています。秋には母校で教育実習を行う予定ですので、自身が4年間学んできたことを発揮できるよう、全力を尽くしたいと思います。

普段はラファエラ・マリアセンターSEOグループで様々なボランティア活動に従事しています。2年次でASEACCUに参加したことをきっかけに、コスメクレヨンの活動や英語ミサ、映画鑑賞会など様々な新しいことを企画しています。また大学近くにある品川区立日野学園での、朝の英語絵本読み聞かせボランティアにも参加しています。英語の面白さを小学生に伝える楽しさに、いつも胸を躍らせています。

清泉祭でのSEOグループの活動の様子（写真左端が渋田さん）

－課外活動ではどのようなことに取り組んでいますか。

以前よりご縁のあった東ティモールを支援する特定非営利活動法人NAROMANと協働し、東ティモールの若い親子に向けた絵本作成に取り組みました。東ティモールで大切にされているワニから着想を得て、雨水を大切にする志を育てたいというプロジェクトにかける想いから、『ワニとカメ』の物語を作りました。現在は現地語であるテトゥン語版、および英語版の作成に向けて取り組んでいます。

ボランティア活動以外では4年間続けている創作活動に取り組んでいます。ＳＦ小説を書くことが多く、1年次からいずみ文芸賞に応募し続けてきました。創造していることを言葉に起こすことはとても難しく、まだまだ未熟な点も多いですが、今後も邁進していきたいと考えています。

渋田さんが制作した絵本
『ワニとカメ』

ガーデンパーティにて「いずみ文芸賞」（第二席）の賞状を授与される渋田さん

－奨学金をどのように活用したいと考えていますか。

発展協力会からいただいた温かいご支援は、今後も自分自身の成長のために活用したいと考えています。今まで国内でのボランティア活動に多く参加してきましたが、今後は国際ボランティア活動にも取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、たえず自身を研鑽し続け、より学びを深め、社会に役立つ人となれるように頑張りたいと思っています。

－後輩たちへ向けてアドバイスやエールをお願いします。

今までの二十数年の短い人生の中で、大学生活が一番楽しかったと胸を張って言えるほど、清泉女子大学での生活はとても楽しかったです。友人、先輩や後輩、職員の皆さんたちとの交流は、かけがえのない宝物だと思っています。たとえ年齢を重ねても、きっと想い起すのは、鮮やかなツツジの庭で、本館を見上げたこの毎日です。在学生の皆さんにも、清泉女子大学で過ごす日々が、何ものにも代えがたい青春になることを祈っています。

JFCネットワーク勉強会の様子

「学業奨励奨学金」授与式の様子